

# #8

# 旅

体感の空間へ

現代を自在に旅するアンサンブル

## ENSEMBLE NOMAD



20世紀にはさまざまな様式と音楽思想が生まれ、試みがなされ、その後の音楽に多大な影響を与えました。19世紀の伝統の殻を破り新しい音楽を求めた作曲家たち、音とは何か、時との関わりを問うけた作曲家たち、演奏者との共同作業によって作りあげられた作品、演奏者の技術向上が可能にした超絶技巧作品など……

20世紀の作品を中心とし、同世代の作品から特に優れた作品を演奏するアンサンブルとして、1997年に結成されたアンサンブル・ノマド。1999年度はJ.ケージ、E.カーター、K.シュトックハウゼン、A.シェーンベルク、M.カーゲルの作品を柱とし、それらの傑作が発した光の跡を、世界各地で活躍する現代の若い世代までをたどる5回の演奏会シリーズです。高度な演奏技術と、演奏に対する真摯な姿勢が内外から注目される気鋭の演奏家たちによる刺激的な作品と演奏にご期待ください。

ノマド=NOMAD=道教の民は、さまざまな色合いを持つ国、時代、音楽の旅を続けます。アンサンブル・ノマドは、東京オペラシティ文化財団の主催により東京オペラシティリサイタルホールで、98年4月より年5回の定期演奏会を行っています。

シュトックハウゼンの〈コンタクテ〉は、エレクトロニクスを用いた作品の最高傑作といわれています。電子音と生演奏のKontakte「接触」は、その場にいる人を特異な体験へ誘うことでしよう。この作品のほかに、ホールを音がアーチ状に飛び交う望月京の〈アンアルカード〉、森の中の鳥のさえずりを模したシェルシの〈リュッケ・ディ・グック〉など、ホールを生音と電子音の「体感空間」とする演奏会です。



### アンサンブル・ノマド 1999年度コンサートスケジュール

NO.	日時	主な曲目	チケット—般発売日
#6	1999年 4月 8日(木) 19:00	●ケージ「16.0ダンス」ほか	1999年12月19日(土)
#7	6月17日(木) 19:00	●カーター「トリプルデュオ」ほか	1999年 1月23日(土)
#8	9月 9日(木) 19:00	●シュトックハウゼン「コンタクト」ほか	4月17日(土)
#9	12月16日(木) 19:00	●シェーンベルク「ゴットワード」ほか	7月10日(土)
#10	2000年 2月17日(木) 19:00	●カーゲル「エレクトロニカ」ほか	10月 9日(土)

会場はいずれも東京オペラシティリサイタルホール(東京都千代田区豊洲4-1-1) 東京オペラシティ内(有) 全席自由 3,000円

東京オペラシティ 1F15 友の会事務局 tel:03-5363-0799